

競技注意事項

- 1 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項による。
- 2 出場競技者の招集について

(1) 招集開始および完了時刻は、競技開始時間を基準として次による。

| 競技種目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-------|--------------|--------------|
| トラック | <u>40</u> 分前 | <u>20</u> 分前 |
| フィールド | <u>40</u> 分前 | <u>30</u> 分前 |

(2) 最終コールは、必ず本人が受けること。他の競技と時間が重複するときは、競技役員に申し出ること。

(3) 最終コールを受けたトラック競技者は、出場する競技のスタート地点へ10分前までに集合すること。ただしフィールド競技者は、最終コール後ただちにピットへ集合すること。

- 3 ナンバーカードは、主催者で交付したものをそのままの大きさと胸と背に確実につける。トラック競技者は写真判定装置を使用するので、競技者のショーツまたは下半身の右横に腰ナンバーカードをつけること。走高跳競技者は胸又は背部のどちらかで良い。また走幅跳び競技者は胸だけでも良い。

- 4 競技方法は、次のとおりとする。

(1) トラック競技の400m以上は、すべてタイムレースとする。なお、100、200mについては、上位8名（同タイムの場合は抽選）による決勝レースを行う。

(2) トラック競技の走路順とフィールド競技の試技順は、プログラム記載のとおりとする。

(3) 中・長距離以外のトラックレースはすべてスターティングブロックを使用する。ただし小学生は、使用したくない競技者は使わなくても良い。スタートはクラウチングスタートを原則とするが、小学生はスタンディングスタートも認める。

(4) スタート時は、“位置について”を「On your marks」、「用意」を「Set」と英語にて発声する。“立って”は「Stand up」を用いる。ただし小学生のスタート時は、“位置について”、“用意”、“立って”と日本語で発声する。

(5) 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は、スターターにより失格させられる。ただし小学生は、同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。

(6) 800mは、オープンスタートとする。

(7) 走り高跳びを除くフィールド競技は、3回の試技とする。

(8) 走り高跳びの最初の高さは、審判長の指示による。バーの上げ方は、最後の1人になるまで5cmとし、1位決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。

(9) リレーに出場するチームは、競技開始2時間前までにリレーオーダー用紙を競技者係に提出する。（オーダー用紙は、競技者係に備えてある。）

(10) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。

(11) 写真判定装置のトラブルの際は、再レースを行います。

(12) スパイクのピンは全天候舗装用で9mmを超えないものを使用する事。ただし走り高跳びの場合は12mmを超えないものを使用する事。

- 5 表彰について

(1) 3位までに賞状を授与する。

(2) 主催者が選考した優秀競技者に優秀賞を授与する。

- 6 その他

(1) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、その後の責任は負わないので注意すること。

(2) 貴重品や衣類は各自が責任を持って管理し、盗難には十分注意すること。

(3) ごみ類は、各自の責任において持ち帰ること。